滿州日報

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料
一毎月以上一ヶ月以内銀十五仙乃至十
一長期連掲載價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白干例
一行五號二十一字起碼登
一日者每行二角每登十日
行一角五分登月者每行每
日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

○油豆行情（中曆三月十九日）
集市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價鐵五吊四百文至五吊
集市共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙　全　一圓八十錢
一連紙　一連　一圓
一フールスカツプ　全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一全三組道具　一個五十錢以上一個七十錢
一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一厨房用戸棚　十圓五十錢以上十圓

一絨毛布　一枚モノ　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

特別廣告

告示
一本年二月より六月に至たる牛家屯間土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尙納付せさるものは其土地の貸下を廢除す
明治三十九年六月二十六日
營口軍政官　與倉喜平

公告
電話交換手募集
當局電話交換手を募集す志願の者は（滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業若しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る）志願書に自筆の履歷書を添へ携帶出願すへし
明治三十九年六月
營口軍政署電話局

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
竹島丸　十三日午前五時　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸
勝山丸　全　門司神戸行

大連出帆
橫濱丸　十八日午後二時出帆　門司神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二十六番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮州丸　十二日入港
代理店　東營口公園地横　ブツレコ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三番）

瀛船出帆廣告
万成源丸　龍口登州府定期
摩耶山丸　十三日　門司神戸行
中國丸　十二日　門司四日市行
第二乾坤丸　十四日　門司行
松茂洋行船舶部
海岸東稅關西　電話（五二五七）

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
橫濱正金銀行牛日支店
本支店出張所
橫濱、神戸、東京、長崎、大阪、倫敦、里昂、紐育、桑港、布哇、孟買、香港、上海、漢口、天津、北京、大連、旅順、奉天、遼陽、芝罘、鐵嶺、安東縣（電話百八番）（支配人室）（事務室）

營業項目
一定期預金（長期存款）　三ヶ月　五分　六ケ月接年五分五厘　一ケ年　六分
一當座預金（暫存款）　接年　四分五厘　日步　一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存款）　接年五分一厘一毛　日步一錢四厘
一送金爲換取組先（滙兌）　東京、橫濱、大阪、神戸、長崎、上海、天津の橫濱正金銀行本支店
一貸附金（放利）　一般財產並に土地建物の管理を引受くると不動產抵當貸附金の委託を引受くると
一附帶ノ業務
營口西北街第二百三十號
支配人　深水十八（電話二百十番）

正隆銀行
軍政署認可
本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尙近々の內過爐銀の取引をも開始可致候
ぬ號勸業貯蓄債劵（五圓劵）發賣

宅洋行
啓者敝行專賣紗粗布綿絲布荷花標布東洋綴子紋綴子布手巾花巾洋燭火柴鐘表等類價値格外克已並且貨眞價實以故敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸貨棧業所便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳倘可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至
總司理人　田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內
電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋燭煤炭雜貨發行並滙兌銀錢代客經理買賣租船裝運專宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡貨輪船裝卸貨物極爲利便國貯油餅豆米麥更爲合宜倘有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是幸
東盛和司理人　葉亮卿謹白

東永茂
本號在營口創辦油榨生意多年以本營業爲報效油房壹家及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週知之
經理人　孫玉田　副理人　寧金德魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致誤
本主人敬啓

仁裕號
保險運各貨火輪船生意兼賣各樣洋什貨煤石等貨
營口西大廟街路北營乙第十三號

志岐組
本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名擧其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許發運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東　櫃（電話九十五番）
西義順棧內西　價（電話九十八番）

營口　承文信記書坊
現底西大街粵東會館並阜豐棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙外士商賜顧者價照批發格外克已不悞
本號主人謹白

三井
電話　第六十六號　第九十一號
○發售新到洋白糖
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一槪章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一槪章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦 諸貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亨內面議可也
王鹿芹　朱斐章
營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以諸關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已 諸公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

飯塚工程局材料部
營口元神廟前（電話百三十五番）
弊局上木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外國々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

志岐組　木料棧材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨祿兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

周
鐵道遼河　裕和盛運輸局
（電話八十一號）
任東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱嶙太郎
謹啓

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請逕議是荷
營口西北街（電話十八號）
旣設分局　牛家屯車站（電話四十六號）　遼陽、奉天、昌圖各車站

銃砲火藥　軍刀販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
官許商　武田洋行
營口元神廟街第十號

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉
光顧者請至營口永世街
第五號　門牌便是

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一槪發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物槪行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
營口元神廟街元神廟南邊路西
朝日ビール特約大販賣
（電話一百九十二号）

總司運輸　同濟公司
本號稟官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨留交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請來本號面議特仰週知
營口南永世街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
紫守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）婦嫣唎（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利卜（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代々木公司）
日本官煙營口專賣處

社告

我社の一週年 本紙の大發展

來る二十六日は營口占領第二次記念日にして又我社創立第一週年に當る乃ち本紙は此記臆すべき吉日を機とし我社の大發展を行はんことを期し既に新式印刷機を購入し活字を一新し職工を增加し新聞印刷以外汎く一般印刷物の注文に應ずるの準備を整へ紙面亦從來の六段を改めて七段縱振假名附とし努めて其內容を豐富流麗ならしめんが爲め更に記者を增聘して已に其發途に在り創刊以來殆ど醉生夢死せる我紙は今や滿一年にして始めて活躍の時機に到達しぬ因て我社は當日の吉辰を祝すべく特に本紙を十二頁とし記事を精選し趣味を多樣にし以て讀者平生の眷顧に酬ゐんとす其如何なる趣向を以て江湖に見ゆるかは請ふ之を同日の紙上に徵せんことを謹んで豫告す

一、當日の本紙は特に數万枚を增刷し廣く一般に配布するを以て廣告の効能殊に顯著なるを覺ゆ依賴諸君は本月二十日迄に申込まるべし

一、營口占領第二次記念日及び本紙一週年祝賀の詩、歌、俳句等を寄せられんとする諸君は廣告〆切期限と同じく二十日迄に編輯局へ投寄を乞ふ

七月 日　滿洲日報社

日報短評

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲尙來らざるに優るものある乎

近來滿洲利源調査委員てふ名目の下に各府縣よりして此地に渡來するもの、頻繁なる現に吾徒の如きすら日々其送迎に遑なき程なれば當事者の此輩に忙殺せらるゝと言語同斷のものあらん然も尙來らざるに優るものある乎

此種の渡來者中『余は將來滿洲に於て如何なる行動を取りて可なるや』など漠然たる質問を試み人をして其目的の那邊に在るやと疑はしむるもの蓋し十中八九を占む

滿洲旅行を以て一の金比羅參りと心得居る輩ならばイザ知らず苟も責任を帶びて此地に臨むものゝ態度としては餘りに呑氣にして而も常識を失せり今日此種の渡來者の有樣を見ては縱令此增にお百度を踏むとも到底滿足なる結果を齎らすを得ざるを信ずるなり

雜報

●日淸合同材木會社

鴨綠江森林經營の方案は既に決定し目下法制局に於て審査中の由にて遠からず發表せらるへきか傳ふる所に依れは其組織を南滿洲鐵道の如く日淸合同事業として我か法律に依り會社を設立し其資本金總額は二百五十萬圓を日淸兩國に於て各百二十五萬圓づゝ出資する筈にて本社を東京に置き安東縣に支所を設け此所にて事業を管理することゝし會社の存續期間、營業方法、本社の設立位置等に就ては林駐淸公使北京到着の上淸國政府と協定すへき豫定なりと云ふ

●關東州の財政

三十九年度に於ける關東州の經費は尙ほ戰時狀態にあるものと見做し總て臨事軍時費中より支出することゝなり居れるが明四十年度以降に於ては最早戰時狀態を脫し且つ軍事費なるもの存せざる次第なれば明年度以降同州の財政を如何にすべきやに就ては目下當局に於て講究中に屬し未だ明かに決定する所あらざる由なるも多分は同州を以て獨立自營の方針を立てしめ恰かも臺灣に於けるが如く之を特別會計とし同州に於て先づ收入支出の道を立て其足らざる所を國庫に於て年々補充することにならんかといふ

●露國の經濟的挑戰

曾つて本紙上に記載せし如く露政府は我か滿洲貿易を阻害し浦鹽經由貨物の增加を企劃し浦鹽斯德より哈爾賓に至る鐵道賃金を半減し公主陵以北の運賃は五倍したる▲更らに近く聞く處によれは其の烏蘇利鐵道東淸鐵道及び新計畫に成るストレチエンスク、ニコライエフスク鐵道を一會社の下に統一し且つ浦鹽斯德に棧橋倉庫を建設し巨萬の國費を投して絕對保護を加へ以て極力我か滿洲貿易に向つて競爭の態度に出つるに至れりと云ふ

●英露協約は無根

一時は遠からず締盟を見るへしとて思はれたる英露間の協約に就ては其後何等の情報にも接せさるが該協約に關する報道は全く根據なき風說にして歐洲の好事家又は權謀家が爲にする所ありて作爲したるものと見るを以て適當なりと思惟すと當局の一員は語れり

●滿洲守備隊の編成替

滿洲に於ける守備軍は彼の戰時中に新設せられたる師團を以て之に充てあるも近々關東都督府官制の發布と同時に守備軍の編制を變更する筈にて目下調査中なるか多分臺灣に於けるが如く混成旅團若くは蛽團編成となすへしといふ

●露軍撤去狀況

滿洲露軍撤兵は近頃大に進捗し吉林方面は已に撤退し東淸鐵道方面も守備軍の外哈爾賓に撤退したり目下哈爾賓、齊々哈爾間には二十四五萬の軍隊ありて頻に撤送を急き居れりと

●露帝の贈勳

露國政府は膠州灣總督トルッセル氏は第一等スタンダース星章を總督代理フォンゼムメル氏にも同章第二等を其の他港務局長以下に夫々勳章を贈りたるか右は日露戰爭中同港に遁入せるツエザレウヰツチ号等に關する功勞を謝する爲なりと

●軍團編制の利害

師團の數多きを加ふる時は戰時に際し行動の敏活を期する上に於て軍團編成を爲すの必要あり歐洲大陸諸國の軍團制を取れるも多くは此必要より來りしものなるへし然れとも目下の我日本に此必要あるや否やは議論の存する所にして必す陸軍々制調査會に於ける一問題たるへしといふ

●陸軍行賞發表期

陸軍の論功行賞發表期は本月下旬なるへしとは豫て噂せる所なるか既に全部の審査を了りたるを以て其審査の結果に大體に於て甚たしき不公平の廉なく從つて一部に對する再調査等の必要を生するか事なき限り案外早く發表するに至るやも知れすと云ふ

●海軍の論功行賞

海軍下士以下の論功行賞は過般來續々發表せられ大抵終りを告けし模樣なるか各將校の行賞に就ては大佐以下の分は既に御裁可濟となり少將以上の分は目下上奏中の由なれは御裁可濟次第同時に發表せらるへき筈にて本月二十日頃迄には其の運びに至るへきか尙其の發表の順席は下士卒と同樣艦隊順序によるならんといふ

●米國靑島領事館

米國は近日靑島に領事館を設置する筈なり今日まで各國とも獨逸の保護地たる同地に領事館を置きたる事なきに米國政府が今回此決定を爲せしは靑島發達の好徵證なりと言へり聞く所に據れは上海副領事ボイド氏靑島領事に榮轉すへしと

●鹵獲銃器の配分

日露戰役中鹵獲したる銃器は實に非常の多數なるか陸軍省に於ては今回右銃器三千挺を文部省に保管換を爲す事としたれは同省にては之を各官立學校に配布する事とし此程各學校に通知したる由

●大審院長更任

去る三日大審院長南部甕男男は樞密顧問官に任せられ檢事總長横田國臣氏判事に任せられ其後を襲ぎたり

●御用船の論功

陸軍御用船員の論功行賞調査は既に其大半を結了したるを以て來る八月下旬頃發表の運びに至るへしとの事なるか金鵄勳章を賜はるへき者は羽後丸外一隻の船長のみにて餘は旭日章なるへしと傳へらる

●滿洲利源調査員

農商務陸軍兩省の交涉に成れる第一回滿洲利源調査員は既に四百三十四名に及び來る十日より二十日までの間に於て御用船の都合を見計らひ出發の筈なり

●滿韓修學旅行生徒數

東京府立各學校生徒の滿韓修學旅行者中去る三日迄に略ぼ決心したるものは各學校を通して約三百五十人にして其內師範學校四年生六十六人外に三年生に自費希望者二名ありといふ

●浦鹽の自由港廢止說

浦鹽にては露曆八月一日より自由港たることを廢止し一般に課税すへしとの風說ありと信僞未た保し難し

●故荒尾精氏の建碑計畫

本年は荒尾精氏の十年忌に相當するに就き同氏の友人及び門下生等相謀り一大記念碑を適當の場所に建造し氏の功績を無窮に傳へんとて昨今計畫中なりと

●以太利牡蠣の不產

伊太利の噴火は獨り陸上に損害を與へたるのみならす海中にも亦多大の損害を加へチアベルに於ける獨乙理學館長ドルン博士の海中調査に依るに噴火の爲め降下したる灰塊の爲め一切の貝族斃死し爲めに向ふ二ケ年間は牡蠣を得る事能はすとの意見を發表したり爲めに歐洲各地の牡蠣鑵詰業者は急に牡蠣を伊太利に輸出すへく着手しつゝありと云ふ

浦鹽革命黨の動亂

去る三日夜長崎へ入港せしクロニア號乘客の談によれは浦鹽にては去二十九日三十日の兩日突然革命黨暴徒の密謀發覺し首唱者約三十名官憲の手に捕はれ爆發物大函八個小函十個餘發見沒收せられたり捕はれたるものは多く猶太人、アルメニア人及びコサツク騎兵等にして殊に兵士の加擔者多きには官憲も一驚を喫し又爆發物か如何なる方法によりて斯くも多く輸入されたるかに就ては頗る恐怖の念を起しヒオルド、ウヰクトル及びウオルジフ等革命首領の滯在せる當長崎港より今後の輸出物に對しては一層面倒の檢査を加ふるなるへしとの大檢擧以來市中は白晝强盜横行しこれ等は一見旅客の如くホテルに止宿しなから時々出稼くものにして長崎市の藥種屋某は二千圓を奪はれ又當市附近深堀村の某は家財道具を賣りて浦鹽に赴き上陸後又直に盜難に罹り露國人數名も亦白晝强盜に罹りしものあり人心恟々たる折柄三十日各警察署にては內外商店に向つて營業を停止し一般警戒すへき旨を達せるより各商店は皆戸を閉ぢ荷物を片付け川上貿易事務官も亦本邦商人に對し殊更口達にて警戒すへき旨を傳へたり而して革命党は七月一日を期し昨電の如く各砲臺より一時に市中の中央銀行及び沿海州總督府黑龍江總督府等を砲擊し捕はれたる同士を引戻すへき計畫ありとの密報あり一日乘船すべかりしクロニア號の乘客は三十日夜本船より急ぎ乘船を求め港外向島に避難し翌一日の計畫か果して實行し得らるゝや否やは不明にして全体の大檢擧にて頓挫せるものか將た公賣を許されたるウオツカにより一層の動亂を起せしやは不明なりと云々

●吉林長春方面の輸入貨物

別項記載の如く露國政府は我か南滿洲に於ける經濟上の發展に對抗し浦鹽斯德方面に於いて絕對の積極的商業經營に着手し居ることとなるか最近に浦鹽斯德より哈爾賓に入り吉林長春伯都納方面を經由し滿洲內地の商況視察を終へて當營口に來着したる人の語る處によれは浦鹽斯德より滿洲內地に輸入さるゝ貨物は世人の噂する如く多からすして而も其の大部分は上海附近に堆積し居たる露人向き雜貨にして戰後漸く商的交通の開けたることゝて其の流動は案外に活潑なるも未だ淸國人向き貨物の輸入さるゝもの多からす吉林長春方面の淸人は多く南方より高運賃にて輸入さるゝ貨物を購買し辛ふじて其の需要を充たしつゝ在る狀況にありと云ふ

●福島中將一行の出發

福島中將の一行は本日午前八時二十分發列車にて天津に向ひ出發せり尙ほ聞く所によれは將軍の一行は天津より更らに北京に入りそれより陸路上海に出で同地より直ちに歸京す筈にて歸京の豫定は稍々後れ本月末なるへしと云ふ

●遼水の貿易

昨紙所載の如く近來遼河增水の結果內地產物の搬出さるゝもの漸く多く最近兩三日中に當港に下航せしジャンクは平均殆んと二百隻に上はり日々一万担內外の大豆粕の輸出を見る景況に在つて溯航の諸雜貨亦日々數十隻に上はると云ふ

●正隆銀行の繁忙

久しく商業銀行の存在せさるか爲めに內外商人共に貨物の取引上多大の困難を感し居たる折柄先きに正隆銀行設立され專ら商取引上の金融を主とし頗る便益多きより昨今同行の業務は非常の繁忙を來たし殊に當座預金及び小口當座預金多く內地への送金爲換の取扱ひは最も繁多なりと云ふ

●蓋平占領紀念會

去る九日は我軍の蓋平城占領記念日に相當せるを以て同地在留の官民共同にて戰死者の追吊會を兼ね紀念會を催したるに來會する者百卅名意外の盛況なりしと云

●森病院齒科部の移轉

曩に同病院內に齒科部を開設せし以來患者の治を乞ふ者踵を接して到り從來の施術室にては狹隘を告ぐるに至れるを以て今回其齒科部を永世街矢野洋行向側に移し一昨々日より引移り兒島齒科醫主任と爲り治療に從事しつゝありといふ

●水澤軍政官の湯治

宿痾勝くれす久しく入院治療中にありし遼陽軍政官は湯治の爲め去る六日熊岳城溫泉に赴かれたるが滯在豫定期は十日間なりと云ふ

●遼陽の輕鐵と屠獸場

遼陽軍政の撤去と共に同地官設にかゝる輕便鐵道並に屠獸場の如き其他婦人病院等の處置は將に起るべき問題なるか屠獸場は建築工費一万圓を要したる事とて其設備萬端は間然する所なく完備せるも位置餘り遠僻に偏したる爲め多くの淸人は屠獸其者を忌むにあらずして位置僻在の同場に往復するの不便を厭ひ動もすれは密殺を行はん傾向あるを以て將來官設として持續するも目的の半ばに達せさるのみか從て其收入程度今に於て想見するに難からさるも斷然淸國官憲の手に委するの得策なるに如かさるへく且又淸人を相對とする屠獸場其者の性質上當然淸國官憲に讓るは策の最も妙なるものなるへければ這は早晚事實となりて現はるへし輕便鐵道に至りては同地城內外を縱横に通する唯一の運輸交通機關として其便利なるは茲に特記するの要なく其收入日を追ふて增加するに徵しても其成績の良好なるを証し得らるゝが元と敷設せる軌鐵は陸軍省所屬物件たるを以て軍政撤去と同時に此を陸軍省に還付すへき運命を有するものとす然れとも多大の敷設費を投し刻下最も利便を與へつゝある運輸機關を故なく撤去すへきにあらされは是か持續の方として既設の輕便及附屬品は全部有力なる商人に拂下け以て民營に移し其拂下金を軌鐵に替へ同一なる新軌鐵を陸軍省に還付し其局を結ふに至るへく目下有力なる商人選定中にあるものゝ如し次いで婦人病院は即ち驅黴患者一途に充てたる賣春婦の檢黴機關なるかは例令軍政撤去の曉と雖も必須なる衛生機關として存置するの要あり而かも一の强行法として公力を藉るにあらされは充分なる檢黴を行ひ難く此の見地よりして推考するに依然官營として副領事に於て持續すへきかと專ら噂せらる（遼陽通信の一節）

●目睹耳聞

▲▲▲▲先日は陸軍少將たる福嶋氏を旅順に送つて昨日は又陸軍中將としての福島氏を迎へた▲吾徒の先輩たる福島氏が縱令無位無官の老書生であるにもせよその尊敬の點に毫も輕重なしであるが海外の地に於て而も目前での榮進に接して只何となく嬉しい感が起きた▲福島中將の簡素にして廉直なる周く人の知る處なるが曩きに將軍一行の爲に桃を贈つたものがある將軍歸來其人を見て頻りに其好意を謝せられた態度は恰も千金の贈物でも受けられたかのようであつた▲微々たる菓物の贈物中將をして如何に滿足せしめたかと思ふと吾徒が時に高樓低酌の快を縱まゝにするの慚愧に禁えなかつたのである▲中將の邸宅は牛込矢來町でチツポケな二階建の家である、應接の間の隣りの部屋が直ぐ食堂で襖一重で香の物を嚙む音まで客に聽ゆるので夫人は中將の出征中更に邸內に應接所を新築せんと企畫しつゝ中將の凱旋を待たれたのであつたが『軍人にそんな贅澤が要るものか』と一言の下に跳ねつけられて仕舞はれたさうだ▲其癖何日も財政困難で辛ふじて債鬼其門を窺はないのみである▲滿洲利源調査委員なる名目で近來盛に內地の杢兵衛田吾作殿達が入込んで御坐るが其連中の內で營口に稅關の有無すら辨知しない人がある▲それのみでない現に先日も西營口で某調査委員が或人に向つて支那の大名は何處に住つてゐるかとの質問を試みて其人をアツと言はしたさうな▲加藤政之助とか云ふ仁の著書中に「北京の支那人も段々開化して纒足しない婦人を澤山に見受ける」と好一對の奇談であるヂ

蓋平占領於紀念會　遠藤嶋外

蓋平
身を捨て君か樹たるいさをしわ　其名も高く千代に八千代に
露しげき山に屍を曝すとも　幾世朽なん大和櫻は

日報俳壇　野梅選

課題集句選　其四

丶醉さめに夜市見に出る單衣かな　古江生
うるさしと云もふりたり五月蠅　枕石
丶支那の蠅軍政の力及ばしな　同
○眼の先に魚は躍りてなつの月　同
友の來て語ふ窓やなつの月　同
人さきに流行模樣の單衣かな　同
丶知慧もなくて身巾の廣き單衣哉　同
○牛の角額に蠅のもどりけり　四五六
誰やらか下駄響かせて夏の月　同
滿洲に布子を捨てゝ單衣かな　竹醉
○風下は藍のかほりのひとへかな　同
丶釣り網の釣たまゝあり夏の月　同

關內外鐵道
上り 營口發前七、〇〇 溝幇子同九、〇〇 錦州同后二、〇〇 …
下り 山海關發前七、〇五 錦州同后三、五五 溝幇子同二、四五 營口着 …

東淸鐵道
上り 營口發前六、三五 后九、三五 …
下り 大石橋發前八、二五 后二、二五 …
新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五〇
溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五〇

淡谷
本號開設營口東靑堆子發賣 栢木元料 紅松料 木油松方料 元木大小 栢子廿四尺 栢木大杆 木板 此木材出售

會席 營口警務課

奉天小南門ノ後
和洋諸雜貨 食料品卸小賣 各種賣藥卸小賣
中越洋行
中越大藥房

天氣

營口地方天氣豫報　自六月三十日午後六時 至七月一日午後六時
南又は西の風晴れ驟雨あり

短篇小說　幼友達

吹田蘆風

一

予が十二歳の昔、父の未だ此の世に在しまし頃の事なりき、予が家の隣りに木村と云ふ人の移り來しことありき。處は同じ東京にても、其頃は先づ田舎に近かりし山の手の事なりければ、隔てとては只だ疎なる杉の生垣あるのみなりけり、されば覗くともせで予が家の庭より、そが家の庭、椽先などよく見らるゝに、二三日經ちて予は其處に、丁度予とは同年配の男の兒のあるを知りたり。其頃ば只もう對手欲しやの盛りなれば、予は其子と友達になりたくて堪らず、夕暮家の前の通にて友どちと遊ぶ折りなどは、それとなく唱歌を高聲に歌ひなどせしも、其子つひぞ外へは出で來ず、さりとて學校も同じからねば、此の所願も果敢なくなりぬ可きかなど思ひ居たりき。或日の事、予が母の姉と共に、隣家のこと話し居るに、ふと耳傾くれば、其家は元下町の成金物商なりしとか、町內屈指の大した身代なりしも、商業上の失敗にて、其店を疊みて今の山の手住居、以前とは打つて變つた生活になりましたとの、其處の妻なる人の嘆ち言、內には娘二人と悴一人とあれば、貴方の御內の御子さん達も、ちと遊びに來て下されと云ひ居たりしとか、さてば家の氣配の何となく濕やかなりしも、係かる所縁ありければにもの、本にて見る樣なる哀れさへ打ち添へて、予はそが家のひと氣の毒に想はれ、又その子一や、昨日は豪商、今日は草深き邊りの詫住居、沙なつかしくなりぬ。予は生付きなる可し、幼ぃ折りより世に時めく人々よりは、落魄れし人をなつかしく思ひ居たるなり。かつ下町邊の町家の子の、如何なる者ならむなど、好奇心も手傳ひての事なりけり。

●河童と蝙蝠の道行

飼主は萩原奉天總領事

古今未曾有の大珍事河童と蝙蝠の道行など〻大變な標題を掲げて說き出す事件は去る五日のこと奉天守備聯隊にて來奉中の林公使を主賓として萩原總領事池田軍政官等を招待して晩餐會を催せしが全公使は全日午前より北陵渾河邊へ行き歸途中名者〻腹は北山の處へ銘酒の香は鼻を穿ちて腸を劉ぐると云ふ有樣、忽ちにして盃飛び箸躍り快談、諧謔迸出して殆んど停止する處を知らざりしが發車時刻の追々迫るので一同は林公使を見送つて停車場に至り十一時奉天發營口行の列車は恍々たる夏の月を浴びつゝ醉余の公使を乗せて轟々たる音と共に馳せ去りたり……事翌日奉天總領事館にては大事件が出來した、領事の愛玩並びなかりし手飼の河童と蝙蝠の姿が突然紛失した、サア大變と四方八方に人手を別ちての大捜索も其効なく、何れ御主人の艶福を羨み二人否二疋手に手を取つて「ヲツパ」ちゃん、御座れ、あいなアと言ふお安くない道行を演じたか、其とも、そんじよ、そこらの仇なお歒の處に居連けかと噂とり〳〵なりし其の日の午後營口より電報にて

サクヤ、レタシヤ、ナイニ、カツパト、ミウモリ、ワスレアリ、ハギワラリヨジノ、モノナラズヤ、

●遼陽滿洲座瞥見評（一）

厄介坊

勿驚滿洲座超然的の滿洲座は知る人ぞ知る普通興行にあらぬ軍隊慰問一偏の組織とて後見黒幕は名に負ふ〇〇素より諸道具扱ては衣裳萬端に抜かりのある筈なく而かも此度の一行八十余名とは往年故團洲の大坂下りの一行にもイヤ優さり閉幕間の樂隊合奏臨時裝置されたる三十數ケの電氣など何から何迄大仕掛大舞臺三府五港を除きては迚ても睹られぬ設備に加へて出演の俳優ドツコイ元は兵士の面々も流石は壯年血氣の盛なけ手舞足踏一前一却見榮あるを覺へ演じ物狂言も歌舞技劇の粋華を撰びて婬猥女々敷ものなく孰れも一面武士道念を皷吹する意味に於て時代もの多ければ一段優りて見應えも殆と斯道に迂なる厄介坊誉辭を呈するより他に批評言句なしこれには近頃少々閉口な仕る次第と云へば餘まり卑怯の沙汰と例の萬頃兒の斧責否な冷笑を被むる苦しさと一は招待ゞ辱ふしたる責塞にウンと筆を叱して余白のあるに儘せ誤批評するとは面厚し、併し斯道に通せると云ふ萬頃兒は大連の此の一座に就く遼東紙上樓々細評盡し得て妙狂言も異ならざれば極簡單にと冗々敷駄言は省きぬ

●千本櫻道行　ア丶華美なる此狂言は觀劇家の最も望む所舞臺一面真に吉野山の夫れの如く櫻花は今爛熳と咲亂れたる景殊に目を奪きたる吉野川の流水は絶へず淙々として流る如き道具仕掛舞臺にて丶ぞと一點の申分なく特に竹本常盤津の出語は三味の撥音り唄聲の節々など久しぶりに耳を洗いたり(伊勢氏)の狐忠信は實に巧妙臺詞も所作も扨ては宙乘も大出來大喝采にて宙乘觀覽者の頭上を過る時恰かも山中師團長閣下の頭上にて六法を踏みたるは一奇觀山中師團長の仰いで拍手せられたるも愛嬌わりて又奇觀、強いて伊勢氏に望む時々忠信の狐となりて本性を露はす所は此狂言の主旨に適う眼目なれど其所作あまり忙敷殆ど所作の七分は狐を以て了はりたる樣感せらるさりとは地下の忠信も遺憾なるべしモー少し忠信的にとの注文わり(中島氏)の靜御前舞振落付過ぎ靜御前の本領は無難(鈴木氏)の藤太は大當りの適役時々退却何所へやら失せたる心地せりと言ふもの丶先づ斥候などの軍隊語を愛嬌に交へたる毎に見物する兵士は笑聲を擧げ喝采湧き此のテレ役を面白可笑演じ去りたるお手際は感心の外なし四人のトンボ是又頗る輕妙輕快舞臺は是により一層引立ちて見たり（まだわる）

●松村組中の大曲馬　曲馬師を以て名ある松村組中は先月より海外興行を思立ち韓國各港を打ち廻り安東縣より大連に至り同地にて數週間の興行をなして大に內外人の好評を博しつゝありしが愈々同地も昨日限り打揚げ當地に乘込む事となり來る十五日より西營口第五憲兵派遣所前なる野原にて興行をなすと云ふ

頭陀袋

在留藝妓一同

其方共元來腐れ便器の身を持ち作ら當り前の人間振るさへ既に不都合なるに碌な藝は一つも心得ず剩へ見度くもない不景氣な面をブラ下げ一時間大枚二圓宛の香代を貪り不潔な枕の貸賃を十圓以上も卷き上げるといふに至りては實にお上を蔑にしたる不屈至極の曲事たり今日以後は何れも半額に減じ且つ面の造作にも修繕を加ふべきことを嚴命す若し之を犯すものは片端から遼河の濁水に叩き込み水煙りとなすべきにより右樣心得べく右屹度申渡者也

月　日　太白山女人取締局長　腹野立臓

●在留民懇親會　本紙廣告欄にある如く日本人會及び營口紳士等發起人となり來る十五日午後三時より新市街地朝日館にて一大懇親會を催すと云ふ

●千代田館內の大立廻り　幾等筆誅して反省を促しても豆腐にカスガイ、糠に釘と云ふ奴原面も恥も構はぬ鐚一文の値打のない餓鬼共何處までも腐つた土根性の男地獄伊井薫は相變らず例の髪切圓八と大連より追駈け來りしおシズの兩女郎をペテンに引掛け居るを見え現に去る八日の夜十一時過ぎおシズの下宿所なる千代田館にて大立廻りをやらかしサア殺せ〳〵と女の噪く聲……何をての女巫山戯やがるナと男の怒鳴る聲に夜更けの四方にひゞき渡れるより近所隣りの人々は勿論、往來の人々まで何事ならんと駈け附け樣子を聞けば例の髪切女がお召の着物を持ち居るを睨ひて貢飛さんとの巧みが原因となり一ツ二ツの嫌味を打出したのが先づ銃の火蓋。お前はナアと女よりの突貫に短兵相接して格鬪となり終には双方往來にまで飛出しサアこのヘナチヨコ野郎、ウスベタ女郎と前記の如き活劇を演じ結局圓八の方が又も捕虜となり終にはお召の衣類は他に十八圓に賣放ち愈々垢染みたる浴衣一枚となり今は逆倒に吊しで絞ればとて鼻血一滴も滿足に出ぬまで絞り上げたる揚句薫はシズと共に何處へか姿を隠し圓八け狂人の如くなりて薫の居所を探し居る由何たる非道の野郎なるや斯かる動物は其筋に於ても風俗壞亂てふ廉を以て宜敷退清處分の嚴命を願いたきものなり

●遼陽料理屋見立評（二）

厄介坊

▲盛進館　西の大關は最も熱闘の要衝に在るを以て能く衆目に觸る丶も料理店の場所としては如何にや客室は例の張紙的で紳士向にあらざるも待遇と料理とは惡しからず白拍子の花奴と米すそれに半玉のおもちやは名の如く手遊にして面白し

▲滿洲ホテル　雄大なる名稱に似て家の構へも太くばれホテル然たる外觀を失はざるも近頃頓と人氣立ず料理と待遇とは可もなく不可もなし強ての注文は紅裙隊に內訌ゴタ〳〵絶ゆざるより中傷を耳にすること多ければ斷然一洗すれば妙

▲玉家　場所は淸國衛生局の裏手にて容易に見當らぬ損位置にあり客室は狹く紳士の歩を向けるには至極不適當なれど待遇は頗る善く板場の利腕は膳部に現はれるもお高いことはそれこそ目玉も飛出ん計りなり遼陽おもし文の御本尊玉吉姐さん漱石の老妓と呼ばる丶老猾藝妓は此內に鎮座し賜ふ

▲豐盛館　豐盛館と云へば餘り人に知られざるも道理位置は西門外通より外れたる僻地なれば先づ閑靜を好む人の爲めには妙ならん近頃紅裙も運ばず待遇は先づ、以上なるべし

▲日營ホテル　場所は稍外れにて反て適當し料理待遇に申分なきも客室は嚴密の冬期的で夏向はゼロなり同家の主婦は年こそ老たれや却々の利腕にて客に接するお手際は痒る所にまで手を届かせて遺憾ない義太藝の房之助は此の內に巣を造りて唸りおれり聞けば營口日營ホテルの奴の巣替に來るとの噂先づ目的にはならまし（まだある）

投書かご

▲李家は日本人向きハイカラだ義公も粋人だ三浦女は二た月以前より中々身の廻り立派々々手切の後は又清人の上等お世話いたします（ピーロ入屋）▲過る五日大連行基隆丸のお客人利源調査員とか云ふ諸君は上陸早々理髪所に行かんとして直段を聞きて驚きいや〳〵〳〵營口迄我慢するさと當地に來て六十錢と聞いて呆氣に取られ先づ調査員連中の第一の失敗談（立聞生）▲世の中に氣樂な馬鹿野郎もあるものだ支那人と日本ピーの色情話を取調に廻る男がある心の底が知れん奴（イソカシヤ）▲某高等旅館へ此間から三百式イカモン師が兒分二三名引連れて大に陰謀を巧らんで居る日清人の諸君彼れの罠に罹らぬやう御用心肝要（內探屋）▲朴念老先生暑中見舞は途切れましたが御老体の爲持でも起りましたか又は懷中のお加減ですか（鬪鯛生）▲ピン〳〵して餘り健康過ぎて困まつて居りますが實は懷中の加減で少々閉口歸れて居ります不景氣の故か姐さん方へ毎度易料の懇けに取りに行きますが明日の明後日のと一日延びに延ばされるので其れが爲め延引し居ります何れ遠からず殘りの姐さん方には洩れなく御見舞申上ます（朴念老）▲僕は來る廿六日の祝賀會には萬腔の熱血を注いで何か奇抜の趣向を凝して大々的祝賀を催す考である賛成の上は日を期して何處家に寄り集り協議をしては如何（發起人）▲大に祝すべしての光榮ある紀念日を祝さずして他にあるべきか記者も大々的賛成だ（係り）

告示

七月四日第八回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得べし

二、當籤者は七月十五日迄に衛生局に覂り當籤札と引替へ賞金受領す可し若し此期限を經過するときは其當籤効力は消滅す

三、當籤金額

一等　銀五十圓　二等　銀拾圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

七月四日第八回鼠拈鬮施行而左開得彩號目自示之後十日即七月十五日以內其得彩者各携原領執照往赴衛生局領銀可也若過期未來領銀時將來其票一、爲歸廢棄爲此特示

定爲

頭等　銀五十圓　二等　銀拾圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

第八回捕鼠懸賞抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

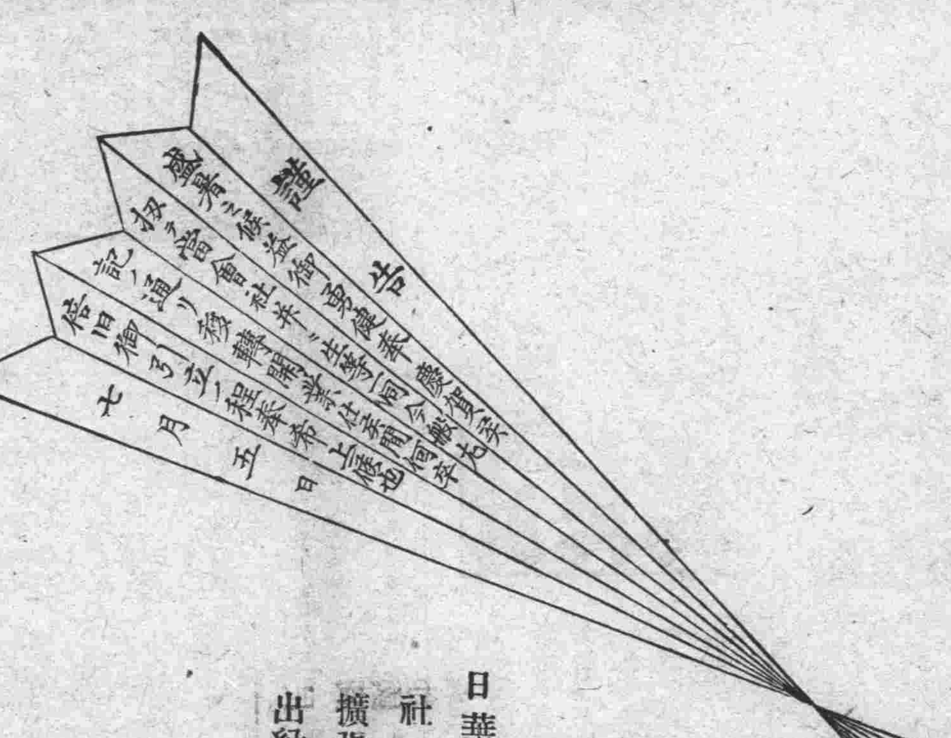
二二二　一二一一一　一
一八〇一二六八一〇九〇六八六三一
三四四五九五四二八八八一八一八五
二三五九四九一〇一二二三五一〇　九

二二一一一一一二二　一二　　二二
〇三五五八五〇七六八八七　　七二
三五七〇〇二六〇四九二四三二四九
一二〇二三三二七七九三八九七二三

二一　一　一二　　一一一二一二
七一六〇五三六一五五一一六一二八
七五一一六六三五九一七七八八九九
七四四一二一一八〇五六九二二七〇

一一二二　二一二二二　二一一
九二二一　七五七三一一三二二八
一四八〇二二六五三一三六四〇九一
二〇八三四六七九六一六五五二五五

五　　　二　二　一一　　　一一
一五四九七　七八五五三一四　三八
四八七一一九〇一六四五一五八八六
五七一五八五四一四六四四三九一二



營口永世街八一號
第二市場停車場前
（電話一七一番）
日華製藥合資會社
社長　山田長
擴張主任　御前正之助
出納主任　中里巳午太
外一同

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ

滿韓境上唯一樂園

五龍背温泉

當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
效能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

諸鐵工製作

山船舶機械鑛工
鐵便鐵道附屬鐵工
土木建築用鑛材料
其外鑄物諸般

營口綏定門街 ブツシ商會東
川喜鐵工所

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町
日本館（電話百三十）

各位樣

新築廣告
鐵嶺西門外停車場通り商品陳列場附近
一 西洋風日本建貸家 間口三間奥行四間 八戸
右は鐵嶺屈指の地にして目下建築中に付本月下旬には落成致候間御希望の御方は至急御來談あれ
明治三十九年七月
營口西北街 裕和盛號
鐵嶺西門外大街 裕和盛支店
鐵嶺支店雜貨部並に鐵道遼河運輸部をも今時に落成仕候間移轉の上は大改革を爲し貴需に可應候條御引立の程伏て奉願候

溫泉披露
酷暑の候各位益々御清福の段奉賀候陳て私儀今回溫泉場新築致工事落成に付本月三日開業仕候間乍御保養御臨浴あらんことを乞ふ
附言 弊店渡清一周年の祝意として入浴料當分の間普通洗湯と同樣に可致候
本泉効能
一 白帶下、弛緩せる分泌多き潰瘍、僂麻質斯、
一 手掌足蹠腋窩肛圍陰部等の悪臭を放し多汗症
一 濕潤せる皮膚及漫性皮膚病、神經痛
七月 日
營口永世街二本町 常盤溫泉 主人敬白
各位殿

牛莊日本人會
來る十五日午後三時(營口時間)より晴雨に拘はらず永久橋朝日館に於て在營口本邦人親睦會開催致すべく候間萬障御差繰御參會被下度候也
追て前日迄に會費一圓五十錢左記最寄の處へ御持參入場券御受取被下度候
明治三十九年七月十二日
西北街 牛莊日本人會
元神廟街 加藤洋行
二本町 高坂洋行
元神廟街 平岡公司
青堆子 宮崎工程局

滿洲第一 湯崗溫泉
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口 — 大石橋 — 海城 — 湯崗溫泉全停車場 — 遼陽 — 奉天

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
營口西北街 (石) 石光洋行
遼陽西門外 石光洋行支店

新着荷
裝飾用簾 洋食用品 肉碎器 秤卅六貫以下種々 手提金庫 コツピー用附屬品 (電話五號)
窓掛及附屬品 夏帽子各種 戸田式濾水器 宇治新茶 ワイシヤツ及カラー 學校用文房具各種 各種復寫簿
關東公司雜貨部

冰
田庄臺大盛貯氷公司 軍政署衞生課認可濟 飲料好適
發賣元 營口元神廟街成功號三階(電話一三四) 田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口永世街 衛生軒
營口第二市場前 松木氷室
營口二本町 丸山氷室
營口永世街平野町角 山田氷室

官准老牌 登録商標

桂林
神効臭蟲藥粉
各國大博覽會名譽賞牌數個受領
另名驅除諸蟲藥粉
購置者宜保置於乾燥無濕之處以防過濕氣
大日本始祖發售本舖 大阪伏見町堺筋東入(電話東二四六六番) 清水桂林堂藥房
(藥價)每罐洋一角
代售處 營口永世街 回天堂三木大藥房(電話百九十番)
同 遼陽西街 足立大藥房
本堂鑒製神効蟲藥粉專驅除、臭蟲、乞蚤、虱子、紙蟲、蝎等一切毒蟲効驗頗異常眞希世之妙藥也 凡床榻、書棚、衣架等之處撒此藥則所有毒蟲立皆斃死又有家畜如猫狗鳥類及各種毛皮毛絨等之中所生蟲傷者擦入此散於羽毛中則蟲盡死又將此散置入火中焚之蚊蟲蒼蠅等聞之或斃或逃矣 然人吳食之毫無貽害眞居家行旅不可欠之神散也

廣告
スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
高麥酒スペシヤルライト等
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部(電話五番)
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

白煉瓦 ◉瓦 製造並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組(電話八十六番)

醇良日本酒 金露
サツポロビール
孔雀印平野水
大販賣
和洋雜貨 洋酒化粧品 酒類 食料品
千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

軍隊用雜貨 日用品雜貨 吳服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

石材 石灰 大販賣
營口西北街 英洽洋行(電話三二)

御披露
小亭義皆樣の御引立を蒙り日に增し繁昌にて趣き候に付て今般京都より指折の小藝妓名及仲居を呼寄せ一層勉強仕候御客樣の御厚意に酬ひ度候小亭ゝ特色ある安價と輕便さを以て尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月 日
元神廟街 翁亭

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四二(森病院三軒目)
(電話百二十七號)

資本金參拾萬圓
日清合股
(昌) 營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大清通運公司連接)東清鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中 倘蒙遠邇貨客愛顧委託貨客親自到本號賬房及各處分局賬房面議爲荷特 謹白 倘沿途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

喜久洋行
啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在青堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙 中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
開設永世街第二小鐵道市場路東
本行主人謹白(電話一五二)

土木建築用諸木料
板硝子類
マソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコツチウヰスキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外 志岐組商業部

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○全身魔醉○局處魔醉○
○嶄新器械○無痛手術○
梅毒 婦人科 外科 胃腸病 專門
日本醫院

牛莊松岡病院
內科外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄(電話一五一番)

宮門抄

十六日　禮部　太常寺　正紅旗值日無引見　前江蘇學政唐景崇到京請安　召見軍機

論說

聞商部開設繡工科系之以論

商部繡工科自開課以來極形踴躍。現在每日報名者尚多。將來美術之發達。當可操券以待。至辦事諸公。皆極認眞。凡女子學繡時。各教習皆巡行察閱。手指口畫。盡力教導。桌案皆用新式。所有使喚婆媽人等。亦極有規矩。每日九點半開課。下午六點半停課。一切規矩。皆甚嚴密。力防流弊。凡外客到游者。祇在外廊談話。不得入內游觀。祇余孝廉一人在內主持一切。蓋孝廉爲沈教習之夫。可不避嫌疑也。商部司員胡君。本有照料該科之責。然胡君有事。祇告之余孝廉。由余孝廉知轉教習。其科內事宜。如應禀告者。亦由沈教習告之余孝廉。由余孝廉乃告之胡君。所有一切事宜。皆不用直接。以別男女。亦可見該科辦事之嚴肅矣　楊小毆曰。吾中國之女子。坐而食者。蓋十人而九焉。其能識字讀書者。亦白中無一二焉。國萃二萬萬了無知識。不諳世事。了無手藝。不能自食之女子。而彼此分配。各倚賴于此二萬萬之男兒。彼男兒者。自顧不暇。而復荷此萬鈞之重任。其尙有生活之趣哉。故其中由苦累而生厭賤。由厭賤而生呇怨。由呇怨而生愁抑。一般之善男子善女人。循此而宛宛屈屈。以至汨沒者。蓋不知凡幾。我國之所以甚少好夫妻者。其原因實多由于此也。論語云。惟女子與小人。爲難養也。夫人除耄老小孩而外。必有一藝一業焉。足以自食其力。方足以自存于世。若坐以待人之養焉。豈唯女子小人獨見其難。即在男子與大人亦未見其易也。而我國四萬萬人中。幷耄老小孩與女子計之。當在三萬萬之數。此三萬萬人。皆坐以待此一萬萬強壯男兒。以供其養。此所以男兒爲之窒其活潑之天機。女子亦失其自食之能力也。至于富有之家。其女子亦惟是飽食華衣。逸遊嬉笑。蠢然一物。如玩具然。所以博男子之愛重者。惟此玉貌嬌姿。供人評議。噫亦可憐矣。我國男女之間。其愛情與敬意之所以薄弱者。亦實由于此也。夫人之所以能使人愛慕而敬禮者。惟道德與才藝而已。乃知識技能。一無所有。其所以彼此交換其歡心者。乃僅在此姿容外貌之間。是其感覺之初。用情已薄。雖欲愛慕。愛慕何由而生。雖欲敬禮。敬禮從何而發。即間有鍾情固結。亦不過如電光泡影。一轉移間。而終歸消滅。蓋其吸攝之力。祇在外貌。固不若道德之相交。才能之相慕。其所以感孚者之誠實而深遠也。是故物豁之醜反目之嗟。嗃嗃嘻嘻之吝。塡塞天下。試與一游文明之域。領畧人家男女相愛相敬之誠。其不自慚形穢者鮮矣。其所關于世道人心。政教風俗。豈淺尟哉。而況一人之身。上有高堂。下有兒女。而其中之所藉以爲內助者。乃亦不知不識。無德無能。是眞令男兒束縛大數者之間。大爲短氣。而不能少有動彈者也。一人如是。人人如是。于此而欲強其家國。良其種族。雖甚愚者。猶知難矣。又況婦人無學。則子女受虧。陳陳相因。每況愈下。處此人種競爭劇烈之世界。每一念及。其何以堪。故今日而使婦女輩皆有學而有能。實爲探本之治。若繡工科者。其始基矣。夫豈僅提倡美術已乎。望當事者其勗之

弊者實爲中國固不持智者而已明也當道諸公不可不速講對付方法以令避英俄之角逐矣

●唐侍郎擬考察京漢路　唐少川侍郎自簡派京漢鐵路督辦大臣以後認眞管理頗有所整頓是爲中外人所共認也此次京漢鐵路於河南地方被雨水冲壞則正在修理之際自西曆本月中旬始通火車唐侍郎因此深有所覺悟現已決計擬於鐵路修妥後出京搭京漢鐵路往返一次認眞調査鐵路並考察辦事情形以整頓路政

●林公使之遊歷與其歷史　據營口專電云日本新簡駐京欽使林權助君遊歷與安東奉天等處刻已來埠不日杳程赴大連旅順於月之二十日前後搭兵船路過天津來京履任矣按林欽使日本福島縣人爲人明敏沈毅長入東京帝國大學習學法政前駐京公使內田康哉君前法制局長官（猶中國修律大臣）法學博士一木喜德郎君衆議院書記官長林田龜太郎君等皆爲當年同學之反西歷一千八百八十七年畢業充任外務省司員旋即派充烟台日本副領事次年調至韓國濟物浦日本領事館於一千八百九十年陞任領事一千八百九十二年簡派駐滬日本總領事一千八百九十三年授爲參贊官調赴英國次爲日本駐華使署叅贊襄助日使矢野文雄君辦理交涉迨矢野欽使回國代理交涉事宜頗協機宜一千八百九十八年奉命回國補授外務省通商局長頗有政聲一千八百九十九年奉命充駐韓公使供職多年迨日本裁撤駐韓公使卸任回國此次奉命簡放駐華欽使繼內田公使之後蓋林欽使辦理交涉二十年于茲實爲日本外交界之熟手其滋中國統計前後及三次之多駐紮多年熟悉情形想其履任之後遇事和衷共濟和平聯絡不但於中日兩國邦交益篤睦誼亦且於亞東大局必有裨補矣

●義親王之遊歷　聞義國親王前已出京現正赴東陵遊歷今月回京定於十七由津搭乘兵輪赴烟台威海衛青島上海等處再赴日本遊歷後回國

●江蘇路聘技師購鐵軌之議　江蘇鐵路公學王右丞清穆爲總辦一則已誌前報茲聞該鐵路公使會商聘工程師一席初議欲聘日本技師後又改議用華人之留學歐美鐵路學校卒業者爲工程師又鐵軌一項亦撤向鄂廠購訂以保利權

●妥定藏商稅章　西藏辦事大臣電政府爲在江孜巴勒布商人與唐古人因納稅致起衝突經派堪布勸慰解散和平了結現已定妥巴商納稅章程頒布咨院査照

中外要聞

●俄阿鐵薩戒嚴　俄國阿鐵薩地方已頒佈軍令戒嚴兵備

●懸弧誌慶　德國藩王之妃日前娩生王子

●林公使將次履新　新任日本駐京欽使林權助君刻已抵奉省遊歷想不久可來京履任矣

●義使筵賓　聞十三日晚駐京義使在署內設宴各國駐京公使多赴宴先由義使介紹來京之義國王次之先任公使代表各公使演說答謝賓主歡洽盡歡而散云

●俄劃海參威中韓商民租界　海參威商務委員日前電致外部略謂俄國政府在本埠劃定中韓商民租界已於日前宣布章程採錄其要領如左

一、在海參威埠外劃定一地段以爲中韓兩國租界允准兩國商民開設行棧商舖任意居留

一、中韓兩國商民所從事之商務統歸俄國官署隨時監督

一、中韓兩國人如在海參威埠內持有房屋或爲他國人僱工允准其在埠內居住

又據海參威商務委員電云俄國政府待華僑不如他國商民於我國體面頗有妨碍宜與俄政府交涉令其允認華僑一律在埠內居住猶待他國商民云云按此事頗汚衊我國主權該商務委員之電稱當道諸公不可不三致思焉

●俄反對開放哈埠　俄人對於開放哈爾濱爲商埠之事竭力抗議並聞俄商聯名電駐京公使向外部聲明不認開埠已屢由俄使交涉矣

●請電程彈壓鬍匪擾威　海參威地方前年之變俄人已允賠償華商所失之欵七百五十萬盧卜雖不足抵華商所失之數然逐漸經營有此則不無小補乃日前該處商務委員李家鰲有電來京云現在忽有鬍匪竄來滋事若不及早設法則萬一華商再爲受害勢必不能復振云云聞已有電令奉天將軍設法辦理但奉省兵力甚單本省尙不敷用勢難遣派聞趙將軍已據情電復請徑電黑龍江將軍程設法彈壓

●俄約之開議難　聞唐少川侍郎於十四日赴俄使署與璞使面商要事至于中俄滿約俄使托詞廻避頗不願開議竟無頭緒蓋俄使於江吉兩省問題邀求特別利權堅持不讓藉以遷就滿約故若俄國非肯和衷交涉按埠礎商究無滿約定奪之一日矣但若日前謠傳滿約至秋開議之說實揣摩之詞未有確據也

●俄煽達賴謠謀　聞俄國政府頃派烏里雅蘇台領事帶諸多珠寶等件晋謁達賴喇嘛施其運動手段籠絡達賴冀令其煽惑藏番與英啓釁乘之以侵蝕西藏云按俄之垂涎西藏旣匪且夕然被英國佔先看其勢力一旦渙散矣其欲乘機條覬覦西藏者理爲固然但英俄兩國在藏爭勝藉端衝突尤受其

雜報

●海市蜃樓　本埠西營道署門前舊有空地一處極其寬濶時下已作遊戲之塲雖無景致可觀而其地址空曠頗可游目騁懷每當游人如織傘雲扇風之際有說書者變彩者女大鼓唱洋戲作諸般雜劇者笙簧鼓吹謌舞曉嘈皆聚其處士官客商聚視如堵其處日見增盛昨又新設一戲園高搭蘆棚旂飄展並聞尙欲添設一落子園將來亦必愈形熱鬧云

●來客失金　昨聞友人云有永記牛庄之客隨大車來營至東園子門外自不小心失去錢褡一具內計手票二百元現洋五十餘元外有煙臺會票一帋計二百兩當時托人四出尋覓竟無踪影云

●觀察來埠　昨由北來人云奉天驛巡道陶觀察大鈞前日由省垣南來至溝帮子赴節未悉辦何公務或聞相傳附近溝帮子有趙家屯屬集鎭處將欲立縣觀察或往採方向經營基址耶又聞係因恭送肅邸而現已過埠暫駐行旌未悉孰是

●正隆銀行近誌　本埠從來無商業銀行之設商民不便久矣日前經中日紳商相謀創立正隆銀行始啓通融資金之途近時以來昔日不便情形全行消滅在埠商民均享其利因之刻下該行業務極形繁盛每日匯兌件數殆超至數百起之多云

●吝小失大　埠內東南街有王姓者聞其先祖來營口時尙少居民地多荒僻王姓因於該處起連茅茨數椽貽厥子孫其區外又有季姓先世所葬作墳墓一坵後因風鑑指陳季又別卜牛眠遺該墓於彼經年雖來祭掃直若荒坵而近年營埠地址昂貴王姓竟將祖遺房間地址幷季姓墳墓之域一切出賣聞得錢巨萬季姓得悉欲向少分餘潤而王決不服尙思飽以老拳季向衙署呈控日官憲差傳兩造對質王曰該祖由佔該處已七世矣季曰該先人由葬墓時計已四世矣因風鑑不合復別採塋域云云日官憲洞明其事責王曰爾祖佔地已歷七世彼祖葬已四世安有業佔三世之區容他人埋葬棺墓者乎季由是得直命其回修墳域勿得展佔限外可也彼王姓當賣地時幷將該墓域書於劵內且允於買主起移該墓聞買主尙虧買直八仟餘俟其移墓後方能償足今被季某所控得而季某決違官命誓要以此域爲該先祖佳城王某反大爲棘手若當季某尋向分潤時王如少旋餘賄求人關說着季移墓未必不諧詎王竟貪一時豪氣致成訟獄今因理曲反而求人仰息於季較前豈不難哉此所謂先吝小費後喫大虧云

●海城習藝所之內容　海城習藝所係縣尊管大令洛生開始刱辦由去秋將軍流以下各犯先後提送入所習藝今年春夏間復大加整頓局勢益覺宏大就其內容言之統有工場九所習藝人一百餘名曰印字場工師一人學友五人曰鐵工場工師一人學友二人曰製靴工場工師一人學友十人曰縫工場工師一人學友十五人曰紡織工場學友三十人內分織布疋口袋大小條帶等科曰絢工場學友六人曰木工場工師一人學友十人曰玉石工場工師一人學友五人曰染工場學友二人各工場外復有拘禁監房懲儆監房養病所炊所廁所浴舍花園並買貨處攷工室會計室看守室料物庫門衛室瞭望臺工師宿舍等處其間院宇寬濶房舍潔淨誠奉省習藝所中之特色也及看顧習藝人之規模尤形仁厚凡由製造物所獲之利必按月結算照四六分勻例開單通告學藝人飲食之費每月由燈捐提支充用不費習藝人半文每當安息日下午四句鐘時所中概行停工由訓誨師以國民之人格演說勸勉近日復有衛生局大夫隨時赴所診視病人給以藥餌衆習藝人因獲此如天之福有復生再造之機較之東監西獄相懸霄壤鮮不感恩思過立志從善果效如此誠見我中國愛民新政之一斑亦監獄改良之一証云

●海城衛生局之開辦　海城早無衛生局今春管縣尊殷然念之以衛生一事於地方人民保安大有關係遂苦心孤詣籌計一切先聘得營口普濟醫院大夫田君集堂任衛生局大夫第地方既無的欵可籌各事不能不刪繁就簡近日已於巡警總局右隣修理局房閱辦而商界中人亦頗歡迎想後日海城人士咸知衛生之重要自能奮袂而起踴躍捐輸玉成義舉於永久也海城人莊振聲謹誌

行
山海關發前八、五五　北京發前八、〇〇
塘沽同后二、二〇　天津同一一、四九
天津着三、三四　塘沽同后三、三一
北京着六、四五　山海關着六、二〇

大石橋發前八〇五　后二、〇五
南關嶺后九〇七　后三〇七
大連着同九、二〇

木局
東青堆子橋南
淡谷木廠

料理
前…入…

何じ…吉林長春へ…ルビン地方へ御越シノ方
有之上ヘ聊カ御示談中上度義ニ之候ニ付御
都合上御來訪ヲ乞フ

報

昨日の氣温
最高温度八十四度二
最低温度六十九度三

營口旅館料理店案内（いろは順）

- 旅館 料理 元神廟街九十六號（電話八四番） 第一營口ホテル 第一樓
- 料理 永世街百八十三號 入船亭 谷初次郎
- 料理 營口永世街 一力 店主 堀万助
- 旅館 河岸通り 日營ホテル 店主 井上源吉
- 料理 永世街八十六號 東京館 店主 村上京四郎
- 旅館 營口新市場前（電話一八七番、四四番） 東京樓 店主 熊田粂次郎
- 旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程 東茂旅館
- 料理 元神廟街百三十三號 千鳥 店主 吉住善藏
- 料理 永世街百六十四號 沖の島 店主 中川彌三郎
- 料理 永世街八十六號 吉野亭 店主 師田正好
- 旅館 西北街（電話一四五番） 高砂ホテル 店主 片山小みつ
- 料理 營口元神廟街 樂々亭 店主 武部貞
- 旅館 永世街三十四號（電話十一號） 大和館 店主 前田九一郎
- 料理 登瀛門街第百〇四號 萬梅 店主 田島彌助
- 料理 永世街字二本町三百五十九号 まんなをし 店主 和田常松
- 和洋料理 南永世街 公樂園
- 料理 營口平野町 喜樂亭
- 旅館 永世街七號 東雲旅館 店主 谷口今朝太郎
- 料理 旅館 永世街百二十七號 醉花園 滋谷旅館 店主 滋田留吉

- ごるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街橋の袂角
- 和洋料理 營口元神廟街一四三号 松月亭 店主 住松信太郎
- 料理 平野町 都樓 店主 阪本ちか
- 旅館 營口永世街一六五號 品川館

奉天旅館料理屋案内

- 商人御定宿 奉天小西關大街北側 瑞豐館 館主 河野嘉吉（電話 號）
- 會席御料理 高等御旅館 溫泉付大飯店キレーヂライレと 奉天小西關大街南側 天神樓（電話 號）
- 旅館料理店 奉天城內旅市街東華門宮殿東側 館主 入江熊男（電話 號） 日盛館
- 旅館 料理店 館主 押尾富太郎 梅松館（電話 號）
- 御料理 奉天小西門より一丁西の北入 館主 辻井ムノ 梅ヶ枝
- 高等御旅館 奉天小西關大街路北（電話二十五番） 茂林館
- 旅館 料理店 奉天小西關大什字街南へ入 日章館（電話 號）
- 御旅館 奉天小西門外大街路北 瀋陽館
- 御定宿 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎 第二東京館 今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主とし旅館を專業に單ち御客樣の御便利を斗り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 扶桑館 館主 堀田ハル 電話 号

一瀛船貨物運搬業 一浮船及瀬取請負業 右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候 營口南永世街第二市場ゟ西へ入る 遼河運輸 同濟公司

營口 加藤洋行 新着
麻座蒲團、茣蓙茶、浪花簾、竹製椅子、簿記卓子、コッピープレス、謄寫版、日の丸提灯、ハンモック、蚊張、枕、印刷用紙、茶道具、蠅入らず、漆器各種、帽子、靴、レモン油、理髮道具、フートボール、

煉瓦販賣 上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニデ御需メクダサイ 二本町 高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

和洋御料理 高等 遼陽城內東街八九號 遼東館 電話 號

御料理旅館 三河樓支店 弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に壯なる日本風の二樓造家屋新築し樓上等も著に贈する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上 樓主 川上總吉

古料理 満月 平野町（電一六二） 満月支店 平野町入口 店主 青木勝恵

御料理 本店 奉天小西關新來當街々 金城館（電話十九）
御旅館 奉天小西門街大什字街 金城ホテル（電話二〇）

御披露 追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御清榮奉大賀候 陳ば今般擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ東京江戸生粋の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更に千編一律の遊びにあきたらせられ候御方樣には一入の興味を感ぜらるゝことゝ存じ候御納涼旁かつさりし藝を召せらるゝも好適なる事と存じ候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

- 御料理 支店 營口永世街 金城館
- 御旅館 支店 營口永世街 金城ホテル（電話八三）
- 御料理 支店 大連市吉野町 金城館
- 御旅館 支店 大連市吉野町 金城館

御旅館 和洋御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館（電話十四番） 奉天城內鐘樓南大街
日清俱樂部（電話十五番） 奉天城內大南門裡大街 麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫
氷卸小賣所

一週年の祝意 寫眞定價半減 木村寫眞館
弊館愛に一週年之祝意を表する爲め可か面白き趣向を以て御得意樣が御愛顧に報し可申と存し候處時節柄とて差控え更に突飛の勉强をなし薄利にして勢力を惜まさるの考にて寫眞定價を半減となし艶麗にして巧妙なる寫眞を御寫し申上候間天氣の晴雨に不拘續々御來寫なし被下度候 二に兼て此の技に敏腕にして熟練なる村田寫眞師を招聘なし器械の豐富は申二不及館主一同協力嶄新なる技術を奮て御寫し申上候
七月五日より 八月五日迄

新着

金升洋行 盛進商行

土木建築並ニ測量設計請負 營口青堆子線定門外 志岐組

謹告 弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇家事萬端一大刷新を加へ御手輕御清遊に適する樣店中車輪の大勉强何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候 御客樣 店一同
營口永世街第壹號 電話一十番（彌生跡） 醉月

大原洋行 永世街第廿八號
白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約 東京タクアン 其外和洋酒類（無比廉價販賣す）

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連環其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

店頭陳列 つり切
第二回夏物の荷着大賣出し 七月三日より十五日まで
從來の通りくじ付景品を呈す 永世街 キ 木村呉服店（電話八十八番）

爲替相場（七月十一日）
- 日本向 百〇一圓七十五錢（前某百圓に付）
- 上海向 七十一兩二分ノ一（同）
- 天津向 一百四圓十二錢五厘（同）
- 芝罘向 一百〇三圓六十二錢五厘（百弗に付）

日本品最近物價表
紙類 加藤洋行
- 一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
- 一美濃紙 一〆 七圓五十錢
- 一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
- 一全形各 二十枚綴 三錢二厘以上四錢

室內裝飾品及寢具 矢野洋行
- 一ゴザ 百枚 二圓十八錢以上
- 一帝國フトン 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
- 一テーブル 十帖 七圓五十錢以上三十五圓
- 一疊 十枚 二圓六十錢以上三圓
- 一麻紗綿 八圓

MANCHURIA DAILY REPORT. Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month. 2.30 per 3 months.

本紙定價
- 一枚ニ付 銀四仙
- 一ヶ月前金 銀八十仙
- 半ヶ年前金 四弗八十仙
- 一ヶ年前金 銀九弗六十仙